

公益財団法人 かなえ医薬振興財団

団体情報

代表者 (理事長) 周東 祐仁

住 所 〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2

WEB サイト URL <https://www.kanae-zaidan.com/>

生命科学分野の若手研究者の斬新な研究活動を支援

かなえ医薬振興財団は、2020年10月に設立50周年を迎えました。これもひとえに、永年にわたって多方面の皆様からいただいたご支援の賜物と、心より厚くお礼申し上げます。

かなえ医薬振興財団は、現在活動を支援しているサノフィ株式会社の前身であるフナイ薬品工業株式会社により、1970年10月に「かなえ新薬研究会」として設立されました。その後、1997年3月に「財団法人かなえ医薬振興財団」に名称変更し、2011年4月には公益財団法人に移行認定されています。

これまで半世紀にわたって「生命科学分野の斬新な研究の推進を図り、もって医学、

薬学の進歩、発展ならびに国民の医療および保健に貢献する」ことを目的に助成金交付事業を続け、2020年までに1,870名に対して、17億7,940万円の助成金交付を行ってまいりました。

当財団の財団名となっている「かなえ(鼎)」は、特徴的な三本の脚を持つ青銅製の器で、中国の故事にある王位継承の象徴とされる宝器に由来しています。鼎が三本の脚を必要とするように、国民の健康増進には三者のパートナー、すなわち製薬会社、医療行政、医師(研究者)の協力関係が重要であると考えられます。



初代の理事長は東北大学学長を務められた故 黒川利雄先生であり、財団活動は永年にわたり多くの著名な生命科学・医療分野の指導者によって支えられてきました。役員、評議員のみならず、財団の助成活動を支える選考委員会も医学・生命科学の各領域で指導的立場としてご活躍されている先生方で構成されており、財団活動が強力に運営・実施されています。

「かなえ医薬振興財団」では、生命科学分野の若手研究者を対象に、斬新な研究活動を支援する、また医学、薬学の進歩、発展ならびに国民医療および保健に貢献することを目標として掲げ、次の事業を行っております。

1. 生命科学分野の研究に対する助成金の交付
2. 生命科学分野の研究に関する研究者の海外留学に対する助成金の交付
3. 生命科学分野の研究の成果等を公表するための刊行
4. その他上記の目的を達成するために必要な事業

助成事業については、日本国内全域及び海外において行うものとし、研究助成金は40歳以下の研究者を対象に、一方、海外留学助成金は35歳以下の日本人若手研究者に限定されています。

医学・薬学の広い領域を対象とした助成金の募集は毎年6月に開始され、7月末に締め切られます。応募書類は選考委員によって厳正に審査され、理事会で承認を受けた後、10月末に採択者が発表されます。



選考委員会では募集領域毎に厳格な審査が行われる



秋に行われる理事会で最終的な採択者が決定される

また刊行事業として、2005年から「かなえニュースレター」の発行を開始し、現在では歴代受賞者、応募関連領域の先生方宛に約3,000部を発行しています。



年2回発行される「かなえニュースレター」

財団関係者や歴代受賞者からの若手研究者に向けたメッセージや、助成金受賞者の喜びの声などを掲載しているほか、財団からのご案内なども掲載しています。2009年以降のバックナンバー（No.8号～）は財団ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

かなえ医薬振興財団の研究助成は、若手研究者に広く定着しています。2020年に行われた第49回の助成金公募時に、「どこでかなえ医薬振興財団の助成金制度を知ったか？」とお尋ねしたところ、半数近くの応募者が、「研究室の先生や友人から聞いて存在を知った」と答えられました。こうした、いわゆる“口コミ”で全国の大学から応募者が集まるのが、かなえ医薬振興財団の助成制度のひとつの特徴です。過去に研究助成金を交付された若手研究者の実に4割弱が、後に大学、研究機関や医療施設の要職に就かれており、若手の先生方も過去に受賞された先生方からかなえ医薬振興財団の助成金に関する話を聞く機会も多いのではないかと考えております。

しばしばかなえ医薬振興財団の助成金が「若手研究者の登竜門的存在」と言われている理由もそこにあるのかもしれませんが。

生命科学領域の研究助成は民間の研究助成財団の果たす役割が大きいと言われていますが、世の中の状況が大きく変化する中で、こうした支援の在り方も今後変わっていくのかもしれませんが。ただ研究助成財団が行う助成金公募はどこも競争倍率が高く、例えば、かなえ医薬振興財団の2020年度の助成金公募では、採択数40件に対して応募件数560件と14倍の競争率になりました。

このような数字にも、公的な助成が厳しいなか、民間の生命科学関連財団が果たす役割がいまだ大きいことが現れているのではないのでしょうか。

当財団としても、引き続き、医学、薬学の進歩、発展ならびに国民医療および保健への貢献のために邁進する所存です。今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(2021.01)

< 設立趣意 >

生命科学分野の斬新な研究の推進を図り、もって医学、薬学の進歩、発展ならびに国民の医療および保健に貢献する。

e-mail kanae.zaidan@sanofi.com

TEL 03-6301-3090 / FAX 03-6301-3094

(文責：公益財団法人かなえ医薬振興財団事務局)